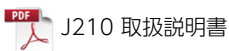
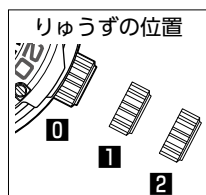
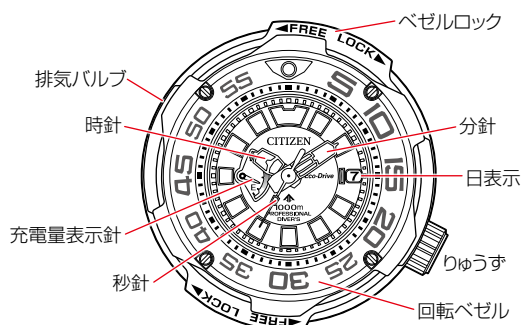


## J210 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- この簡易操作ガイドでは基本的な操作を中心に説明しています。より詳しい説明は J210 取扱説明書を参照してください。



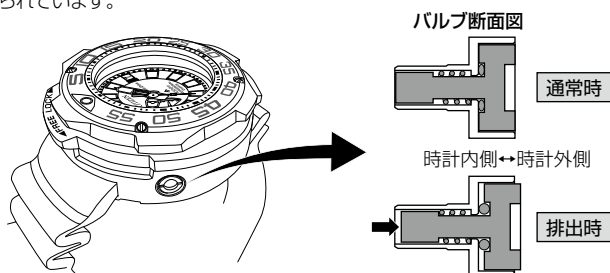
### 各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

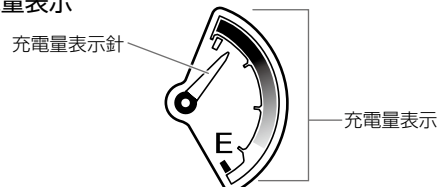
### 排気バルブについて

プロフェッショナルが行う、ヘリウムガスを使用した飽和潜水において、加減圧タンク内で高圧下から大気圧に減圧される際、時計が破裂しないように、時計内部に浸透したヘリウムガスを自動的に排出する排気バルブが設けられています。



### 現在の充電量を確認する

#### 充電量表示



| レベル      | 3                  | 2          | 1              | 0                      |
|----------|--------------------|------------|----------------|------------------------|
| 充電量表示    |                    |            |                |                        |
| およその持続時間 | 540日～450日          | 450日～280日  | 280日～10日       | 10日以下                  |
| 表示の意味    | 十分充電されています。        | 充電状態は良好です。 | やや充電量が不足しています。 | 充電不足です。まもなく充電警告が始まります。 |
|          | 安心してお使いいただけるレベルです。 |            |                | すぐに充電してください。           |

### 潜水前の確認

潜水前には必ず次の項目を確認してください。

- 現在時刻が正しいか。
- 時計の充電量レベルが「2」以上であるか。
- りゅうずはしっかりロックがかかっているか。
- 回転ベゼルは正しく操作ができるか。
- バンドはきちんと固定されているか。
- バンドが傷んでいないか。
- ガラスにキズ、割れ、カケ等はないか。
- 潜水やダイビング専用の、市販の専用機器を用意しているか。

### 潜水中の注意

- 水中では、りゅうずの操作は絶対にしないでください。
- 岩などかたいものにぶつけないでください。

### 潜水後のお手入れ

潜水が終わったら、次の項目を確認して、必ず時計のメンテナンスをしてください。

#### 潜水後の確認項目

- すぐに時計を真水で洗い、乾いた布などで水気を完全にふき取る。
- 時計のガラスの内面にクモリが発生していない。
- 時計内部に海水が入っていない。
- 時計のバンドが傷んでいない。
- りゅうずのロックがかかっている。
- 時計を充電する。

#### 時計を真水で洗うときは

- 器に真水を張って洗ってください。
- 水道の蛇口から直接水をかけないよう注意します。
- 水気があるときは、りゅうずの操作は行わないでください。

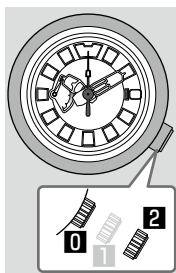
#### ガラス内部にクモリがあったり、水が入ったときは

ガラス内部のクモリが長時間消えなかったり、時計内部への海水侵入の可能性がある場合は、時計を箱やビニール袋に密封して、すみやかに弊社お問い合わせ窓口へ修理依頼をしてください。

- 放置していると、時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうずなど)が外れる危険があります。

## 時刻を合わせる

時計の操作を始める前に、時計がぬれていないことを確認してください。



### 1 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を2にする

時計がとまり、充電量表示針が基準位置に移動します。

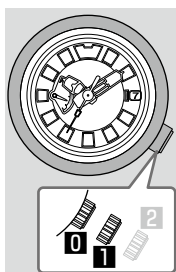
### 2 りゅうずを回して、時刻を合わせる

- 午前/午後の違いに注意して合わせます。
- 午後10時を超えると、日表示が1日進み始めます。りゅうずを反時計回りに回しても、日表示は戻りません。

### 3 時報などに合わせて、りゅうずの位置を0にして終了する

## カレンダーを合わせる

時計の操作を始める前に、時計がぬれていないことを確認してください。



この時計は、3月、5月、7月、10月、12月の初日に、カレンダーを合わせる必要があります。

- 次の時間帯は、この時計の日表示が切り替わるため、カレンダー合わせを避けてください。日表示が正しく切り替わらない場合があります。
- 時間帯：午後10時から午前0時まで

### 1 りゅうずの位置を1にする

### 2 りゅうずを時計回りに回して、日表示を合わせる

### 3 りゅうずの位置を0にして終了する

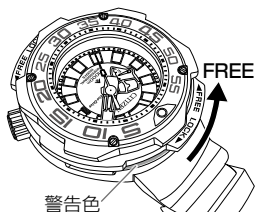
## 回転ベゼルを使う

回転ベゼルを使って、ある時点からの経過時間や、決めた時間までの残り時間を簡単に知ることができます。

- ダイビングなど潜水の際には、必ず専用機器をご利用ください。この時計は目安としてお使いください。
- 回転ベゼルは、反時計回りにのみ回転します。

## ベゼルロック機構

この時計は回転ベゼルの動きを止めるベゼルロック機構があります。回転ベゼルを操作する際にはカチッと鳴るまでFREEへ動かしてください。操作が終わったらオレンジ色の警告色が見えなくなるまでLOCKへ動かしてください。



警告色

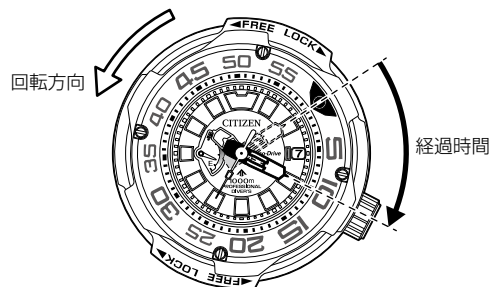


LOCK

- お買い上げいただいた時計は、警告色が異なる、または警告色が無いモデルの場合があります。

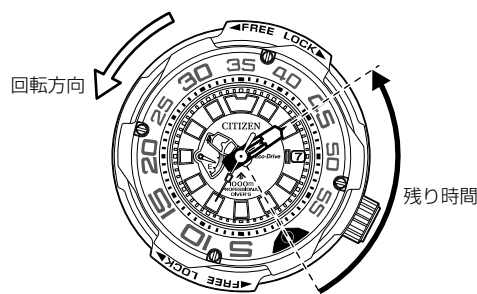
## 経過時間を知る

ベゼルロックをFREEにしてから、回転ベゼルの目盛りを、現在の分針の位置に合わせます。操作が終わったらLOCKへ動かしてください。目盛りから分針の位置までの回転ベゼルの目盛りを読むと、経過時間(60分以内)を知ることができます。



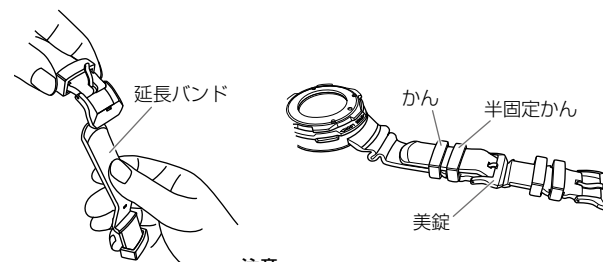
## 残り時間を知る

ベゼルロックをFREEにしてから、回転ベゼルの目盛りを、目標時刻(60分以内)に合わせます。操作が終わったらLOCKへ動かしてください。目盛りから分針の位置までの回転ベゼルの目盛りを読むと、残り時間を知ることができます。



## 延長バンドでの長さ調整

- モデルによっては延長バンドが付かないものがあります。
- ウェットスーツ等の上に装着する際に、通常のパンドでは長さが足りない時は、付属の延長バンドを付け足し、長さを調整してください。



## 注意

- 延長バンドの先端を美錠に通した後、半固定かんとかんの中に滑り込ませ確実に固定してください。